

おめでとう。土井慎悟選手 オリンピック出場!



(写真撮影 向守行さん：向さんは土井選手の祥栄小学校時代の担任)

平成21年12月30日(水)、長野県エムウエーブで開催された日本代表選考競技会で土井慎悟選手(芽室町在住)が第2位に入り、夢であった五輪切符を手にした。

上記の写真は、最終組の滑走が終わり、土井選手の2位が確定し、芽室町から初めての五輪選手誕生がほぼ確実になった瞬間でした。

*正式に五輪出場が決まったのはレース後の記者発表の場

平成21年12月30日(水)12時39分、夢が現実になった。
芽室町初のオリンピック選手誕生!



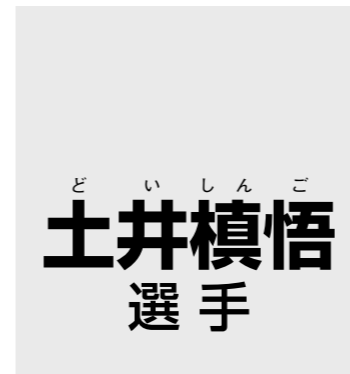
あの頃、将来の夢は、「オリンピック出場」だった。

夢を追い続け、あきらめずに努力を続けてきた少年の夢は、この日、現実になった。

広報誌すまいる平成10年2月号に掲載された中学校2年生時の土井選手。この時のインタビューで「夢はオリンピック出場」と答えた。



1月16日(土)、めむろーどで開催された、激励会での土井選手。あの頃の写真の面影がある。



芽室西中学校で、学校対抗の十勝大会で優勝(前列左)



2001年世界ジュニア選手権で個人総合優勝を果たし、JOCスポーツ賞新人賞を受賞

芽室町出身(芽室町在住)
昭和58年8月23日生 26歳
A型 おとめ座
趣味 ドライブ

好きな食べ物
カレーライス、オムライス
ハンバーグ、焼肉、魚
きれいな食べ物
なし
尊敬する人
両親、川原正行監督
好きな言葉
顔晴る、努力
好きな本
村上春樹さんの「IQ84」
(現在愛読中)

父と一緒に3歳からスケートを履き、地元祥栄小学校のスケートリンクに立つ。

芽室西中学校時代には、全国中学スケート大会(1500m)で優勝、白樺学園高等学校に進学し、国体、全日本ジュニア選手権などで優勝。早稲田大学では、全日本距離別選手権などで優勝し、中学校から大学まですべての年代で日本一を手にした。平成18年、期待されたトリノ五輪の切符をあと一步のところまで逃す。大学卒業の年に地元十勝に実業団チームの開西病院が設立され、ライバルでもある平子裕基さんとともに入団。尊敬する川原正行監督のもと、昨年12月30日に、夢であった五輪出場を決めた。



主な成績

- 全国中学校スケート大会 1500m 優勝 芽室西中3年
- 2001年世界ジュニア選手権大会 総合優勝 白樺学園高2年
- 全国高等学校選手権大会 1500m 優勝 白樺学園高3年
- 国民体育大会冬季大会 500m・5000m 優勝 白樺学園高3年
- 全日本ジュニア選手権大会 総合優勝 白樺学園高3年
- 2003年全日本距離別選手権大会 1500m 優勝 早稲田大2年
- 日本学生氷上選手権大会 1500m 優勝 早稲田大4年